

# 犬都『大館』が泣いています



市民（匿名希望）のかたから投書をいただきました。ここで紹介しますので、皆さんも糞公害について考えてみましょう。

某町から大館市に移り住んで八年になる。退職後は健康維持のため散歩に精を出しているが、先ず一番に目についたのは、いたるところに犬の糞があることだ。そこで一句。

## ◎ハチ公も 顔をそむける

フン公害

私の行動範囲は、主に河川敷であるが、雪の消えるころになると、大きいや小さいのや、いろいろな形をした糞が足の置き場もないくらいあるところが数カ所もある。

## ◎雪解け時 フンだらけになる

河川敷

雪も消えて陽気になり、桜の花が咲くころになるといつの間にか糞も消えてなくなっている。風雨にさらされ、解けて粉々になるのだろう。ある部分は土中に浸透するだろうが、ある部分はホコリと一緒に風に乗って飛び散り、風の強い日なんか私たちの口の中に入っているのだと思うと不衛生でやりきれない。

## ◎春風に 乗って飛び散る

フンのコナ

散歩の途中、よく犬を散歩させている人々に会う。大半のかたは

ナイロン袋を持っているが、糞をしても袋に処理する場面を見たことがない。また、ひどい人になると、歩道の真ん中に糞をしても知らん顔をして通り過ぎて行くのである。天気の良い日なんか、子供連れや散策の人々が芝生の上で遊んだり、寝ころんだりしているが、いつ糞害に遭うのではないかと思うと気が気でない。

## ◎ナイロン袋と移植ベラ

犬のお供の アクセサリー

## ◎歩道の真ん中にフンさせて

知らぬ顔の 半兵衛さん

犬を飼うにはいろいろな思いがあるだろうが、飼うからには世間的なルールがあるはず。他人に迷惑をかけてはならない。私の近所にも放し飼いの犬がいる。敷き砂利の上、花壇の中、シバザクラの上などに糞をしたり、掘り起こしたりで、腹が立つことが一年に二、三度はある。猫もまたひどい、畑花壇などに種を蒔いたり、整地したときに限って糞をしていく。猫のものは特に臭い。こうなればベットだからと大目に見ることに限界がある。飼う人は被害を受ける人の身になって真剣に考えてほしいものである。

ハチ公生誕の地、犬の街だなんて全国に宣伝しているが、観光に来た人たちがこんな状態を見たら何というだろうか……。

広報おおだて 平成8年5月1日号(No652)

発行/大館市 〒017秋田県大館市字中城20番地

☎0186-49-3111

編集/総務部総務課広報広聴係(内線258)

広報おおだては再生紙を使用しています。

